

大西校長先生を偲ぶ ― 六十八年前の卓球

竹原 孝

2018年9月1日

何しろ半世紀以上前のこと、昔々の物語りです。

六十八年前を思い出してください。

大西校長先生を主賓に迎えた日英卓球大会で、小生は卓球の世界チャンピオンのリーチと対戦しました。なにしろ大西校長の前で、しかもトップバッター。相手は世界チャンピオンでまるでプロ。結果は、21-17、21-13、21-7 とこてんぱんにやられました。歌舞伎座の光線の具合も最悪。入場料を支払ってると思うと、ドキドキ不安な気持ち。その差も大きいと思います。しかし、リーチも観客サービスか 一セット、二セットと遊んでくれ、三セットが実力と思い、感謝しています。

その後、日本チャンピオン佐藤も 21-10、21-10、21-10 と完敗でした。日本代表佐藤が半スコア、リーチの強さがわかります。バグマンよりリーチが相当に強いと実感しました。ワンセット取ったのは、全日本の林だけで、あとは全員 3-0 で完敗です。国体にも何回か出ましたが一番の思い出は対リーチとの試合です。

熊本高校は二回生の水田さんと小生の二名です。全九州のチームに二名です。水田先輩も 3-0 で負け、ペンホルダーグリップよりシェークハンドグリップが合理的と実感しました。バックハンドが打ちやすく、今は、九十五%がシェークハンドだと思います。世界のベスト 10 を見ても、ペンホルダーは一人です。大兄の元気な声を聞き、嬉しくなり、大兄が卓球の竹原と云ってくれ少しホットしました。

吉永兄、藤田（英介）兄にも色々とお世話になり、ありがたく思っています。約三十%～四十%が天国に行っていると予想していますが、お互い健康に留意し、二年後のオリンピックを見たいものです。卓球も男子張本、女子の伊藤、平野等も十八歳、強いのがいます。金メダルも夢ではないと思っています。

「追伸4句 — ニンマリ」

- (1) 定年後、見栄と生ゴミ捨てに行く
- (2) あら上手 ついでにこれもやっというて
- (3) 定年の記念に エプロン送られた
- (4) 本当の事にとまどう 四月馬鹿

写真（著者近影、日英交歓卓球熊本大会2枚+参加者リスト+3枚）

熊本日日新聞記事（昭和27（1952）年7月12日（夕）、13日）日英交歓卓球熊本大会